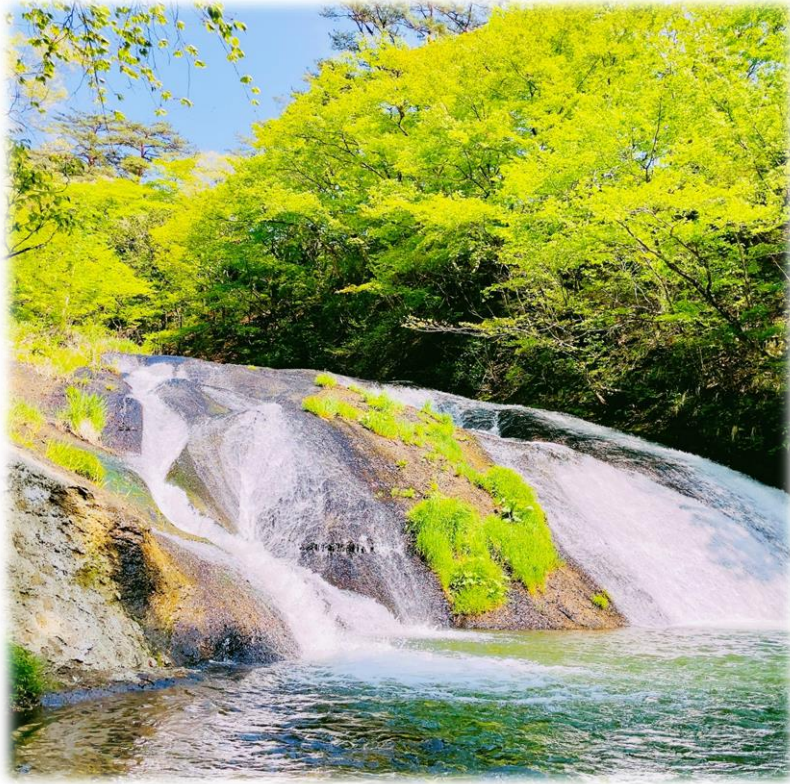


令和3年度

環境活動レポート



対象期間 : 令和3年4月～令和4年3月

発行年月日 : 令和4年5月20日

株式会社 理水興業

・表紙	1
・もくじ	2
1 挨拶	3
2 環境方針	3
3 事業概要&認証登録範囲	4
4 実施体制	5
5 環境目標	6
6 環境活動計画	7
7 環境目標の実績 教育訓練・避難訓練・献血活動の様子	8
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	9
9 令和3年度環境目標設定	10
10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	11
11 代表者による全体評価と見直しの結果	11
12 情報公開事項	12
13 処理方法・処理工程	13
14 受託した廃棄物の収集運搬処理量	14
15 汚泥リサイクルセンター産業廃棄物の処理工程	15
16 産業廃棄物処分及び運搬許可一覧	16～19

1 挨拶

当社の理水興業という社名から、生活環境の原点である水資源を大切に
する事に重点を置き、汚染された水をもう一度環境に適した資源になる
べく、あらゆる環境保全に取り組みます。

また、社会貢献への取り組みと共に東日本大震災への復興にも積極的に
参加し、地域住民の一員として環境対策に惜しみなく力を注ぐ企業を
目指していきたいと考えております。

代表取締役社長

今野 秀實

2 環境方針

《環境理念》

株式会社理水興業は『永遠に美しい地球』をテーマに企業の存立基盤
を確保しつつ、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、次
世代へ、より美しい自然環境を引き継ぐために努力し身近な環境の保全
を基軸に地域社会に貢献し、共に繁栄する企業を目指します。

《環境保全への行動指針》

- 1 当社が行う事業活動の環境に与える影響を正確に捉え、環境への
負荷を低減し環境の保全活動に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出の削減
 - (2) ゴミの分別・削減
 - (3) 生活排水の軽減・節水
- 2 車両運行ルートの効率化とエコドライブを実践し省エネと排ガス抑制、
廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 3 廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 4 現場における再資源化を考慮し、計画・設計時から廃棄物の削減をし効
率的な施工方法で省資源・省エネルギーを推進します。
- 5 地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 6 事業活動に関連する法規制を遵守します。
- 7 全社員及び協力会社従業員にこの環境方針を周知徹底し、理解と意識の
向上に努め、地域に密着した企業活動を行い活動結果を公表します。
- 8 環境経営の継続的な改善を行います。

制定日：令和3年6月24日

株式会社 理水興業

代表取締役社長

今野 秀實

3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 理水興業
代表取締役社長 今野 秀實

2 所在地

本社 岩手県花巻市星が丘2丁目16番12号
水環事業部 岩手県花巻市中北万丁目97番地
汚泥リサイクルセンター 岩手県北上市口内町松越134番地1

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 環境事業部 部長 高橋 満 TEL: 0198-23-5395
担当者 営業推進課長 今野 睦 TEL: 0198-23-5395

4 事業活動の内容

1. メンテナンス部門

汚水処理施設（浄化槽含）の維持管理、清掃
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県3（登）中第3号 R4.1.7~R7.1.6
盛岡市 27-12 R4.1.7~R7.1.6~R7.1.6
浄化槽清掃業 花巻市第493-2号 R4.4.1~R6.3.31

2. 環境事業部門

(1) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含）の収集・運搬（積替保管含む）、
中間処理（汚泥）・処理
(2) 一般廃棄物収集運搬業
(3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生
許可番号 別途記載（P11参照）

3. 工事部門

(1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工
(2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等
(3) その他の工事 電気工事 建築工事等
許可番号 特定建設業

岩手県知事（特-24）第4479号 H29.7.18~R4.7.17
一般建設業
岩手県知事（般-24）第4479号 H29.7.18~R4.7.17
排水設備工事指定 花巻市 H30.4.1~H35.3.31
大船渡市 H30.4.1~H35.3.31
紫波町 H30.4.1~H35.3.31
北上市 H30.4.1~H35.3.31

5. 主要売上 令和2年度
16億

項目	本社	水環事業部	リサイクルセンター
従業員	75	4	4
延べ床面積	646.82	131.36	41.62

6 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 営業範囲

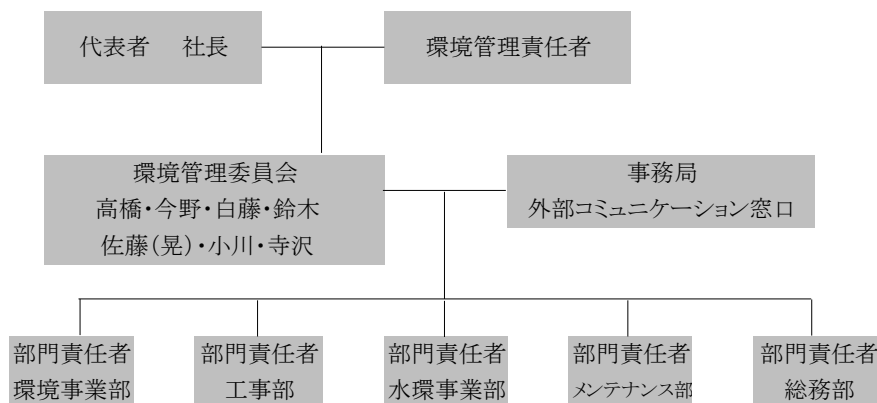
県内一円

8 社歴

昭和35年4月 浄化槽の管理（メンテナンス）・清掃を目的として創業
昭和47年9月 浄化槽の管理・清掃を主要業務として、有限会社ロクサン衛生社を設立。
昭和48年3月 有限会社花巻浄化槽センターへ商号変更
昭和53年8月 貯水槽清掃・産業廃棄物の収集運搬・処分、管工事等を追加
昭和56年11月 有限会社理水興業へ商号変更
昭和62年9月 産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成5年7月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成6年10月 株式会社理水興業へ組織変更
平成8年4月 産業廃棄物処分業許可（岩手県）取得、
移動脱水車による汚泥の中間処理業務開始
平成11年3月 特定建設業許可取得（特-10）4479号管工事業
平成22年3月 北上市口内町松越に汚泥リサイクルセンター
（汚泥中間処理施設）竣工・操業開始
平成27年6月 基準適合産業廃棄物処理業者認定 ★★★ 三ツ星認定取得
平成27年6月 いわて地球環境にやさしい事業所認定
平成27年9月 岩手県再生資源利用認定製品 建設系汚泥改良土【再生土R1】認定

4 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	・ 環境経営に関する統括責任。
	・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・ 環境管理責任者を任命。
	・ 代表者による全体の評価と見直しを実施。
	・ 組織の構築
	・ 課題とチャンスの明確化
	・ 環境方針を制定し、全社員に周知させる。
環境管理責任者	・ 代表者に代わり、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。
	・ 環境活動実績の確認、評価。
	・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告。
	・ 環境活動レポートを確認。
環境管理委員会	・ 委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。
	・ 環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。
	・ 環境活動レポートの作成、公開。
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐。
	・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	・ 担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・ 省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・ 従業員に対する教育訓練の実施。
全社員	・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5 環境目標

1 主な環境負荷の実績

主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	806,509	788,632	720,047	742,523	690,656
購入電力使用量	kwh	223,547	216,114	224,319	231,964	227,142
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t/年	10,889	13,161	19,537	9,087	12,646
受託産業廃棄物 (中間処理)	m ³ /年	6,770	7,065	6,704	7,058	6,276
産業廃棄物排出量	t/年	919	1,506	1,407	666	380
一般廃棄物排出量	kg/年	17,285	30,228	11,360	15,167	11,855
総排水量(水資源投入量)	m ³ /年	5,464	4,570	5,277	5,398	5,923

2 環境目標の設定

当社では、令和3年度の目標基準を令和2年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(令和2年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準年度実績値		中期目標(内単年度目標)		
	実績値	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	742,523	kg-CO ₂	1%削減	1.5%削減	2%削減
LPGの 二酸化炭素排出量	171	kg-CO ₂	1%削減	1.5%削減	2%削減
ガソリンの 二酸化炭素排出量	118,734	kg-CO ₂	1%削減	1.5%削減	2%削減
灯油の 二酸化炭素排出量	22,241	kg-CO ₂	1%削減	1.5%削減	2%削減
軽油の 二酸化炭素排出量	472,405	kg-CO ₂	1%削減	1.5%削減	2%削減
購入電力使用量	227,142	kwh	1%削減	1.5%削減	2%削減
産業廃棄物排出量	666	t	1%削減	1.5%削減	2%削減
一般廃棄物排出量	15,167	kg	1%削減	1.5%削減	2%削減
総排水量 (水資源投入量)	5,398	m ³	1%削減	1.5%削減	2%削減
環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。				
社員教育	2回		3回	3回	3回
その他(地域貢献)	2回		3回	2回	3回

※令和3年度までは平成28年12月公表の東北電力の購入電力の二酸化炭素排出整数0.556kg-CO₂/kwhを使用した

6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一人となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでおります。今年度から、取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	総務	環境	工務部	メンテ	水環	評価等	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	○	○	○	○	照明器具の清掃については年末の1度だけになっている部署もある。他節電に対する行動は徹底できているようだ。
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	○	○	○	○	
		③事務室の部分照明を実行する。	○	○	○	○	○	
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	○	△	○	△	○	
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房25℃、暖房23℃）を順守する。	○	△	○	△	○	部署の人の出入りや建物の構造、日の入り具合など、空調機の使用にもバラつきがある。その部署に見合った節電を心がける。
		②空調を必要な区域・時間帯に限定する。	○	○	○	△	○	
		③使用していない部屋は、空調を停止している	○	○	○	△	○	
	節電	①昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。	×	△	○	○	○	無駄な照明器具の使用についてはこまめに消すなど意識が定着してきているが、OA機器についてはもう少し取り組みに余地がありそう。
		②残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要な箇所は消灯する。	○	○	○	○	○	
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	○	○	△	○	
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取り組んでいる。	○	△	△	△	○	
	車輛その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	○	△	○	△	○	業務上、車両台数や現場での待機や昼食・休憩をとる場合が多いので天候を見ながらエンジンをこまめに切るように現場への呼びかけが必要。
②急発進・急加速はしない。		○	△	○	○	○		
③冷暖房の控えめ使用		○	△	○	△	○		
④タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。		○	○	○	○	○		
⑤建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。		△	△	○	○	○		
⑥建設機械等をリースする際は省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする		△	△	○	△	○		
⑦最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。		△	△	○	○	○		
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△	△	△	△	○	とりあえずコピー・印刷してしまうという傾向が減らない。また回覧等については共有されているが不要な印刷物も多い。裏紙への印刷をめんどくさがって、裏紙の使用に非協力的な社員もいるため、徹底して呼びかけを行う。
		②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する	△	△	△	△	○	
		③帳簿見直しによる印刷物の削減	△	△	△	△	○	
		④使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	○	○	○	○	○	
		⑤分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	○	○	○	△	○	
		⑥文書の共有により、不要な印刷物を削減する	△	△	△	△	○	
		⑦紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	○	○	○	○	○	
		⑧コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	○	○	○	○	○	
	産業廃棄物	①産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	△	△	○	○	○	法的な部分は遵守されているが、片付け整頓については課題があるようだ。
		②現場等で発生した廃棄物を分別し適正処理を行う。	△	△	△	○	○	
③在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす。		△	△	△	○	○		
節水・排水	用水・排水	①節水の表示を行う。	○	○	○	○	節水についての意識は高いようである。	
		②蛇口・排水管の水漏れがないか確認する。	○	○	○	○		
		③水道を流しながら使用しない。	○	○	△	○		
		④トイレ用水の節水に努める。	○	○	○	○		
その他	施設・設備	①事務所、及び管理施設周辺の整理整頓に心がける。	○	○	○	○	共有施設に関しては整理が徹底されている。	
		②朝礼、夕礼の場において社員に周知し理解を高める。	○	○	△	△	○	
社員教育	社員教育	①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	○	○	△	△	社員教育や環境への情報の共有に力を入れることが必要。	
		②朝礼、夕礼の場において社員に周知し理解を高める。	○	○	△	△		○
地域貢献	地域貢献	①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○	△	△	△	例年通り行えている。	
		②現場周辺の清掃活動を行う。	○	△	△	△		△

○：評価できる △：まずまず評価できる ×：評価できない

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション21を開始した平成28年度の数値を基準に令和2年度の実績についての比較を元に、評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度		環境目標の達成状況	
		令和2年度	削減(増加)率(%)	目標値		実績値
1、電力の二酸化炭素	kg-CO ₂	128,972	1%削減	127,682	126,261	○
2、LPGの二酸化炭素		171	1%削減	169	236	×
3、ガソリンの二酸化炭素		118,734	1%削減	117,547	111,062	○
4、灯油の二酸化炭素		22,241	1%削減	22,018	20,271	○
5、軽油の二酸化炭素		472,405	1%削減	467,681	432,796	○
6、二酸化炭素合計		742,523	1%削減	735,097	690,656	○
7、一般廃棄物	kg	15,167	1%削減	15,015	11,855	○
8、産業廃棄物	kg	665,774	1%削減	659,116	380,414	○
9、特管産業廃棄物	kg	400	1%削減	396	0	○
10、総排水量	m ³	5,398	1%削減	5,397	5,923	×
12、環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
13、社員教育	回	2回		3回	1	×
14、その他(地域貢献)	回	2回		2回	2	○

環境活動の状況

社員教育 緊急訓練* 献血活動* 地域清掃活動*

緊急時 火災避難訓練 7月31日

重機からの油漏れ対応訓練の様子



普通救急救命講習会 7月3日~12月18日にかけて全社員対象



中型大型車輛運転従事者安全運転講習



【花巻警察署のご協力を得て開催しました】



最近では落ちていたゴミも少なくなっていますが、このくらいのゴミを回収できました

毎年代表取締役も参加しています

会社周辺(星が丘地域)のゴミ拾い活動 7月31日

8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	使用していない部屋の消灯、部分的に点灯することについてはどこの部署でも徹底されている。	○
	冷暖房	設定温度の徹底はなかなかできていないが、無駄な時間につけっぱなしにしたりすることはなくなっており省エネ意識は高まっている様に見られる。またコロナの関係で換気が必要なものがあるのでここ数年は控えめ運転は難しい傾向にある。	○
	節電	上記2つの部分以外での節電となると数値として減らすことはなかなか難しいが、ちょっとしたところで個々に意識をしてパソコンの電源を落とす、無駄に携帯の充電を行わない、洗濯機の使う場合に量をまとめて使うなど細かいところで心がけることが大切。	△
	車輛その他	仕事の受注状況により、かなり大きく削減されるのが車輛の燃料の使用量となっており今年度は大幅に軽油・ガソリン共に減らすことができた。但し稼働率で比較するとエコ運転などで燃料の削減となっているわけではないのも事実なので、エコ運転については、引き続き呼びかけて徹底できるようにする。	△
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	ゴミの分別は徹底されており今より排出量を減らすのは難しい数値だと思われる。可燃ごみで多くを占める紙については極力裏紙の使用や古紙リサイクルを徹底するようにしたい。また来年度から飲み物の空きビンについては産廃処分とするため、若干の削減になると予想される。	○
	産業廃棄物	今年度は、工事部の受注工事が減ったことでがれき類、汚泥の処理量が大幅に減少した。他部署についても大量に排出量を占める廃油や汚泥が少なかったこともあり全体的な目標を達成することができた。	○
	受託産業廃棄物	収集運搬先である事業所（お客様）については、廃棄物の排出量を抑えようとする傾向は見られるものの、委託される量についてはさほど減少は見られない。当社としては工事の元請け業者、収集運搬を請け負う排出事業者にむけて、極力最終処分や焼却ではなくリサイクル処理を勧めるなど環境に考慮したアドバイスができるように心がけたい。	△
	建設副産物	大きな工事（解体・本管・浄化槽）の受注に伴ってがれき類や汚泥については廃棄量が増えてしまうのはやむを得ないので、発生した廃棄物の処理方法をリサイクルする様にする。	△
節水・排水	用水・排水	今年度は本社の上水使用量は減少できていたものの、汚泥リサイクルセンターにおいての使用量がかなり増量していた。汚泥の受け入れ量は少なかったかにも関わらず、増量してしまった原因を把握して次年度の削減に努める。	×
その他の取組	施設・設備	今年度は設備更新がなかった	-
地域貢献		コロナ渦ではあったが、ゴミ拾い、清掃活動、献血など予定通りに活動ができた。	○

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

当社の場合、車の稼働台数が多いため燃料の使用量に伴い二酸化炭素排出量も増えるためより一層エコドライブや、運行ルートの再確認、無駄に車両が走行する必要がないように現場へ向かうときの準備なども見直していく事で燃料の使用量の削減に取り組む。

(2) 廃棄物の排出削減

汚泥リサイクルセンターでの中間処理後に廃棄される最終処分へ排出される処理量を減らすように、処理過程においても工夫をする。また、無駄なものの購入によって廃棄する物品が発生しないようにする。

(3) 節水（排水対策）

汚泥リサイクルセンターで使用する水の使用量の削減に努める。

(4) 地域貢献に関する取組

例年に引き続き、清掃活動や献血は継続していく。また安全運転を行うことで地元での排気抑制や騒音抑制にも努める。

9 令和4年度環境目標設定

基準年を今年度（令和2年度）とし、次年度以降3年間の目標値を下の表のとおりとする

コア指標	重要度	現取組	リスク	環境目標項目	削減率又は増加率(%)	基準年度(令和2年度)			
					単位	基準値	R4年度	R5年度	R6年度
二酸化炭素排出量	2	2	3	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)		1.5	2	2
					kgCO ₂	128,971.98	127037	126393	126393
	2	2	3	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%)		1.5	2	2
					kgCO ₂	118,734.24	116953	116360	116360
	2	2	3	軽油等の二酸化炭素の削減	削減率(%)		1.5	2	2
kgCO ₂					472,405.33	465319	462957	462957	
2	2	3	灯油の二酸化炭素の削減	削減率(%)		1.5	2	2	
				kgCO ₂	22,240.75	21907	21796	21796	
2	2	1	LPG等の二酸化炭素の削減	削減率(%)		1.5	2	2	
				kgCO ₂	170.78	168	167	167	
廃棄物排出量	3	2	3	一般廃棄物の削減	削減率(%)		1.5	2	2
					kg	15,167	14939	14864	14864
	3	2	3	産業廃棄物の削減	削減率(%)		1.5	2	2
kg					665,774	655787	652459	652459	
3	2	3	特管産業廃棄物の削減	削減率(%)		1.5	2	2	
				kg	400	394	392	392	
総排水量	2	3	2	節水(上水を基準とする)	削減率(%)		1.5	2	2
					m ³	1,444	1422	1415	1415
環境配慮工事・製品・サービス	1	1	2	環境配慮工事	増加率(%)		3	3	4
					件		0	0	0
	2	1	3	エコ商品・リサイクル部品推奨	増加率(%)		3	3	3
					件	30	31	31	31
2	2	3	環境苦情	件	8	0	0	0	
				0		3	2	2	
2	1	2	顧客への提案・情報提供	件	0	0			
社員教育				EA21取組み教育	回		3	3	3
				緊急事態訓練	回	0	3	3	3
				資質向上教育	回	0	1	1	1
地域貢献				重機類の整備・点検の徹底	%		100	100	100
				献血活動	人		30	30	30
				ボランティア	人		100	100	100
				地域清掃	人		60	60	60

重要性： 3;最も重要 2;重要 1;少し重要 現取組： 2;十分に取組んでいる 1;取組んでいる 0;取組んでない リスク： 3;非常に大きい 2;有る 1;不明

※令和3年以降の目標値については令和3年1月公表の東北電力の購入電力の二酸化炭素排出係数0.528kg-CO₂/kwhを使用

10 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法において、遵守状況を確認いたしました。違反はありませんでした。また、過去3年においても関係当局からの違反等の指摘、訴訟はありませんでした。

11 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1 環境方針	目標は概ね達成している。	地域の環境改善に大きな影響を及ぼす社業であることを全社員が意識しその行動に期待している。環境管理責任者から定期的に発信される目標や改善事項をより明確化し、従業員の環境保全意識の向上に努める。
2 環境目標	コロナ渦で地域経済低迷の影響から、弊社の業務量も低下した一年であり生産性が低下したことにより、二酸化炭素、事業廃棄物の排出も低下したことにより目標値は達成している。	今後の経済活動の回復に向け従業員個々の節電、節水意識の持続向上を促すとともに、直面している原油高をはじめ、資材の高騰などあらゆる経費の増加が重なるため、無理のない無駄を省くようにコスト意識も重ね合わせ資源保持に努める。
3 環境活動計画及び環境経営システム	環境への取り組みとしては活動結果が見られず、もっと結果を表面化させていく必要がある。	個人が取り組んでいる節水や節電の結果を社員ひとりひとりが把握・認識できるようにエコアクション委員会の取り組みや報告の機会をもっと増やすように徹底する。
4 全体評価	昨年度は、業務車両事故が多発した。被害者側となる事故が大半であったが運転従事者のモラルによる事故も一部見られた。また一部市街地区で業務車両の駐停車に対し苦情が寄せられることがあった。 都度該当する従業員に対し、直接指導を促し、更に全従業員には運行マニュアルの再確認、運転マナーの向上を再度周知させるため、社内安全委員会、安全運転管理者が主体となり外部講師（花巻警察署）を招いて講習会を開催した。全従業員に再び「車両事故ゼロ」を再認識させ、安全運転に心がけていく。 排出ガス（二酸化炭素）問題には、環境に配慮した業務車両の導入、アイドリングストップ、事業所内空調設備の設定温度の監視などを定期的、継続的に促すことにより従業員の日常常識化に努める。	

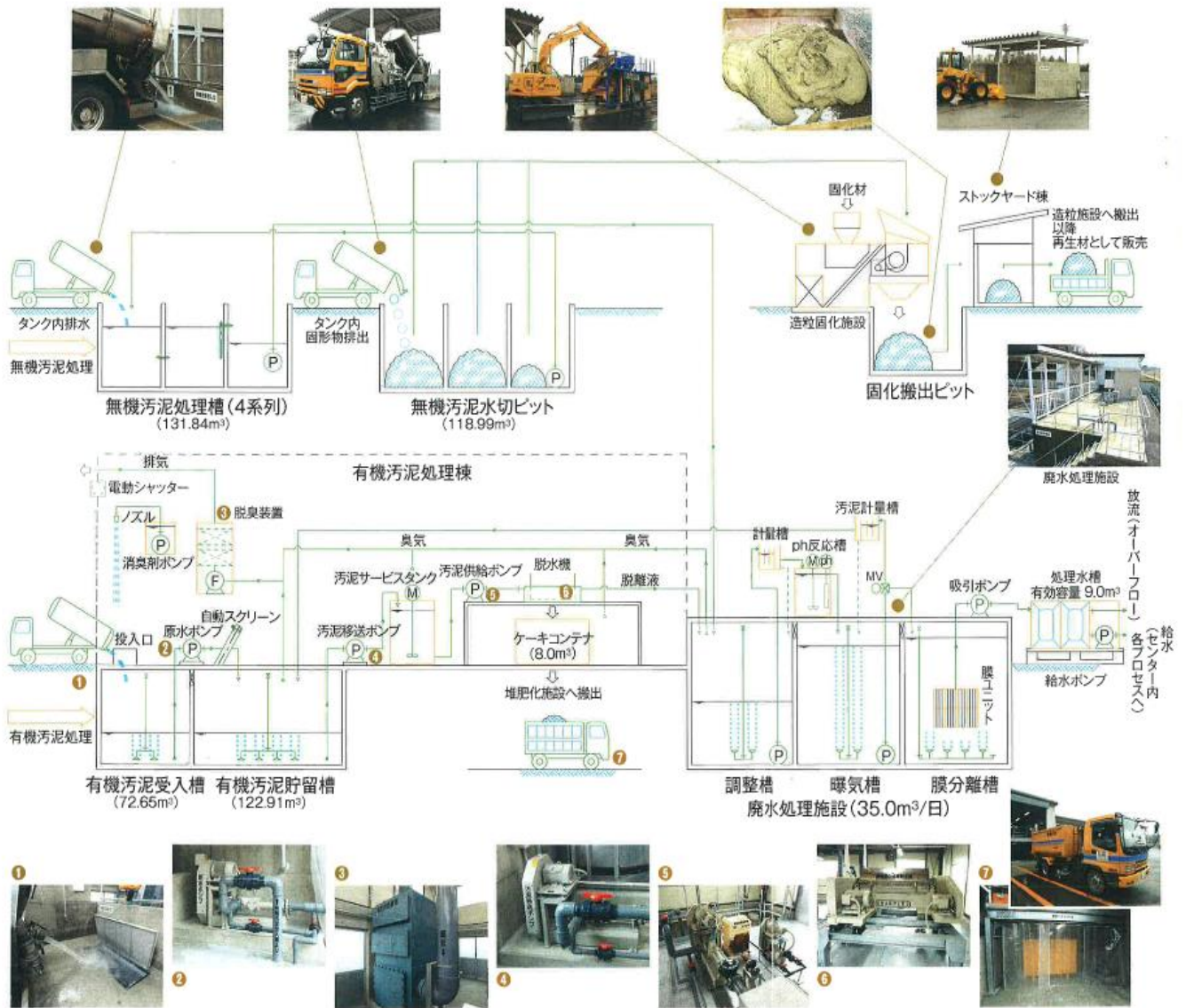
12 廃棄物処理業に関する情報公開

事業所名		株式会社 理水興業					
代表者名		今野 秀實					
所在地		〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16-12					
環境管理責任者		高橋 満	エコアクション2.1担当者 今野 睦				
連絡先		電話	0198-23-5395	ファクス	0198-23-6078		
		E-mail	risui.top9@dance.ocn.ne.jp		URL	http://www.risui-kogvo.co.jp/	
事業計画の概要		当社の関係事業を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。					
事業の範囲		岩手県内一円					
事業の規模	事業年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度			
	売上高(千円)	1,613,611千円	1,613,000千円	1,485,610千円			
	産廃収集運搬量	19537.024 t	9086.800 t	14194.914 t			
	一廃収集運搬量	3544.7t	3542.04t	3475.46t			
	処分量	2738.00t	5969t	5501t			
	従業員(名)	75名	83名	83名			
法人設立年月日		昭和47年9月5日		資本金	4000万		
許可の内容	許可名	許可番号		事業区分、廃棄物の種類			
		許可有効期限					
	産業廃棄物収集運搬業(岩手普通)	許可 有効	312007199 R3.9.16~R8.9.15	別表1			
	産業廃棄物収集運搬業(岩手特管)	許可 有効	362007199 H30.7.30~R5.7.29	別表1			
	産業廃棄物収集処分業(岩手)	許可 有効	32207199 R3.4.16~R8.4.15	汚泥			
	産業廃棄物収集運搬業(秋田普通)	許可 有効	504007199 R2.6.22~R7.6.21	別表2			
	産業廃棄物収集運搬業(秋田特管)	許可 有効	554007199 R2.4.20~R7.4.19	別表2			
	産業廃棄物収集運搬業(宮城普通)	許可 有効	400007199 R4.3.12~R9.3.11	別表3			
	産業廃棄物収集運搬業(宮城特管)	許可 有効	450007199 R4.3.12~R9.3.11	別表3			
	産業廃棄物処理業(盛岡市)	許可 有効	11022007199 R3.4.16~R8.4.15	汚泥(移動式脱水施設による脱水処理)			
	一般廃棄物処理業	許可 有効	花巻市(第244-15号) R4.3.29~R6.3.31	事業系ごみ・家庭系ごみ・浄化槽汚泥の収集運搬			
	一般廃棄物処理業	許可 有効	北上市(第462号積降し) R3.5.1~R5.4.30	一般廃棄物の収集運搬業			
	建築物飲料水貯水槽清掃業	許可 有効	岩手県53二十三第2号 H29.9.1~R5.8.31	建築物飲料水貯水槽業			
	建築物排水清掃業	許可 有効	岩手県53二十六排第1号 R2.12.16~R8.12.15	建築排水管清掃業			
	地下タンク等点検業	許可 有効	地(7)第03005号 R元6.1~R6.5.31	地下タンク等点検業			
	設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数
		汚泥リサイクルセンター	横軸遠心分離脱水機	1台	4tユニック車	2,850kg	1台
			処理能力: 40m ³ /日		塵芥車	4,500kg	1台
造粒固化施設			1台	塵芥車	1,700kg	1台	
処理能力: 100t/日				塵芥車	4,450kg	1台	
排水処理施設			1台	冷蔵冷凍車	2,000kg	1台	
バックホー 0.45m ³				バン	1,500kg	1台	
ホイローローダー 1.2m ³			1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	1台	
ホークリフト 1.5t		1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,800kg	1台		
7tユニック車		6,900kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,900kg	1台	
パワーゲート		1,800kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,950kg	1台	
4tダンパー車		2,700kg	1台	7tトラック	8,000kg	1台	
Sモビル汚泥吸引車		8,880kg	1台	洗浄車	450kg	1台	
モータリ汚泥吸引車		8,200kg	1台	洗浄車	2,500kg	1台	
Sモビル汚泥吸引車		9,120kg	1台	工作車	2,000kg	1台	
タンクローリー		10,040kg	1台	貯水車	1,000kg	1台	
タンクローリー		11,160kg	1台	トリータ固液分離車	36m ³ /日(4.5m ³ /時間)	1台	
バキューム車		3,400kg	1台	カーネーション袋脱水車		1台	
バキューム車		3,500kg	1台	バキューム車	3,700kg	2台	
バキューム車		3,600kg	1台	バキューム者	5,200kg	1台	
バキューム車		3,600kg	1台	5tユニック	5,100kg	1台	
積替施設面積&保管上限			保管量				
84.68m ³			12ページ 35.7m ³				

13 処理方法・処理工程

汚泥リサイクルセンター パンフレット参照

無機性汚泥・有機性汚泥 処理フロー



廃棄物受入基準

収集運搬物・処理物	受入基準
汚泥	有機性汚泥 (特管産業廃棄物であるものを除く。)
	無機性汚泥 (特管産業廃棄物であるものを除く。)
廃棄物の処理料金については当社営業までお問い合わせください。	

14 受託した産業廃棄物の収集運搬処理量

令和2年度

処理方法等	廃棄物等種類	令和1年度処理量 t	令和2年度処理量 t	令和3年度処理量 t
収集運搬	燃え殻	3.37	2.19	1.65
	汚泥	15813.27	7208.34	10679.167
	廃油	1247.43	716.30	661.465
	廃酸	131.30	158.12	203.027
	廃アルカリ	69.07	156.05	153.781
	廃プラスチック	1171.72	367.43	333.406
	紙くず	0.41	0.00	0.49
	木くず	10.66	14.86	11.87
	動物性残渣	756.34	181.09	146.42
	繊維くず	12.10	0.00	0.00
	金属くず	38.70	54.95	97.184
	ガラス陶磁器	41.49	26.95	25.699
	がれき類	61.32	30.98	34.44
	鉍さい	0.47	0.15	0.43
	廃油(特管)	126.65	130.30	226.752
	廃アルカリ(特管)	0.72	0.00	0.00
	感染性	30.83	29.56	49.837
	廃石綿等	0.52	0.00	0.00
	汚泥(特管・有害)	17.65	8.61	16.371
	廃油(特管・有害)	3.00	0.00	1.694
	廃酸(特管・有害)	0.00	0.000	0.000
	廃アルカリ(特管・有害)	0.00	0.42	1.067
	家畜の糞尿	0.00	0.00	1.64
強酸	0.00	0.00	0.074	
令和3年度収集運搬量合計			12646.464	
中間処理	汚泥	脱水、造粒固化		6,276 t
中間処理合計				
再資源化	汚泥			6,276 t

【汚泥リサイクルセンターにおける環境への負荷の実績】

		単位	R1年度	R2年度	R3年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1739564	1801180	1742229
	化石燃料	MJ	503006	600239	768264.2
	新エネルギー	MJ			
	LPG	MJ	42	94	73
② 総物質投入量	資源投入量	t			
	循環資源投入量	t			
③ 水資源投入量	上水	m ³	265	300	
	工業用水	m ³			
	地下水	m ³			
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】購入電力	Kg-CO ₂	98931	101877	98543.22
	【二酸化炭素】化石燃料	Kg-CO ₂	132338.2	142386	150406.04
【⑤ 総排水量】	公共用水域	m ³	5379	5938	5257